

農林漁業現地情報（一般情報）

5 環境問題への積極的な対応

おからから肥料をつくり米産地づくり [京都・加悦町]

- キーワードは、循環型農業 -

与謝郡加悦町は、おからを原料として肥料を製造し、その肥料を使用した米づくりをすることにより、自然循環農業を推進する産地づくりに取り組んでいる。

同肥料は、第3セクターで豆腐を製造する過程で排出されるおからを基に、米ぬか、魚あらを加え発酵させて製造したもので、平成13年から稼働した「有機物供給施設」で年間約250トン生産され、同町では、この肥料を有機質肥料として利用する「自然循環農業」を推進している。

同肥料を使った米づくりは、同年から試験ほ場を設置するなど栽培研究に着手し、14年には、同町、京都丹後農協、宮津地方振興局、宮津農業改良普及センターなどで構成された技術会を中心に、水稻栽培暦を作成するなどをして取組を本格化させてきた。また、15年には、生産者負担を軽減する助成制度や契約栽培などの仕組みを行い、取組の拡大を図ったところである。

その結果、14年には14ヘクタールで約60トンの生産量であったが、15年には62ヘクタールで約280トンと面積、収量とも増加し、地元はもとより京阪神や愛知、東京方面の大消費地へも供給されるようになった。

同町では、「今後は、町の特産として安定した供給を図るとともに、消費者に生産者の顔がみえるシステムづくりも行いたい」としている。